

「新丸の内ビルディング」
2007年4月27日（金）グランドオープン

三菱地所株式会社が東京駅前で開発を進めている、「新丸の内ビルディング」のグランドオープンが2007年4月27日（金）に決定致しました。併せて、新丸の内ビルディングのロゴマークを開発しましたので、お知らせ致します。

「新丸の内ビルディング」は、オフィスゾーンと153店舗の商業ゾーンなどからなる複合ビルで、並んで位置する丸ビルとともに景観的にも機能的にも“丸の内の顔”となります。ロゴマークは、丸ビルとの連動性および一体感を持たせるため、丸ビル同様に“M”の文字をモチーフとし、新丸の内ビルディングの“Massive”（重厚感のある）な存在感を象徴的に表現しつつ、エレガンス、上質感も加えてデザイン化しました。



さらに2007年秋には「ザ・ペニンシュラ東京」が開業、これにより、三菱地所が1998年から東京駅前周辺を中心に推進してきた丸の内の再構築第1ステージが完了します。2008年からは更なる“拡がり”と“深まり”を目指して第2ステージを展開していきます。

（新丸の内ビルディングの商業ゾーンのコンセプトや各フロア特徴は、別紙をご参照ください）

新丸の内ビルディング 概要

〔基本的な考え方〕

- ・快適且つ高規格なオフィス環境を備えた国際ビジネスセンターの拠点として、業務機能の質的高度化を図っています。
- ・多様な機能の導入・集積により、先行する丸ビル、丸の内オアゾとあわせて、丸の内拠点としての連続性及び東京駅前における回遊性を形成します。
- ・事業初期段階の企業を支援する拠点や、多様な交流活動を支援し知的創造性を高める為の、快適なアメニティ空間を整備しています。
- ・よりグローバルな視点から都市景観を検討するため、コンセプトデザイナーに英国人建築家マイケル・ホプキンス卿を起用し、当地区の歴史性と周辺環境との調和に配慮しながらも新しい感性を取り入れています。
- ・丸ビルとともに、東京の表玄関に相応しいゲート性を備えた象徴的かつ風格のある都市景観を形成します。
- ・建築的な省エネ対策や環境拠点の設置等、様々な視点から環境共生に取り組んでいます。

〔各ゾーン紹介〕

商業ゾーン／地下1～7階

地下1階から7階に位置する商業ゾーンは、2002年9月に開業した「丸ビル」とほぼ同規模で、「丸の内オアゾ」、「東京ビル TOKIA」に続く、東京駅前の大規模商業施設となります。これにより、丸の内エリアの商業面積は約103,300㎡、約31,250坪、エリア全体のテナント数は約740店舗となります。

コンセプトは“素敵なお時間”。上質感あふれ、個性豊かな153の商業店舗が集積します。訪れた方は、ゆとりある空間の中で、ショッピングや飲食を通じて“ゆったりとした時間”を過ごすことができます。

共用部は、空間的なゆとりを十分に確保し、各所にソファやベンチを充実させます。1階東京駅側入口にシンボリックに連なるアーチや、小さく、個性的な専門店が並ぶゾーン“パサージュ”では、建物の中をいながら街歩き感覚を楽しむことができます。それ以外のフロア、ゾーンが、テーマにあわせた内装となっていることも特徴です。

MD（マーチャндаイジング）は“質”を機軸とし、“不変性”、“時代性”、“先進性”を感じていただける上質な商品やサービスを提供します。

○各フロア特徴

- | | | |
|-------------|-----|---------------------------|
| <丸の内ハス> | 7F | 大人たちが自由に集い、憩い、語る次世代型交流ゾーン |
| <レストラン> | 6F | 世界的カジュアルな人気レストラン |
| | 5F | 東京を中心に全国の地元で親しまれる名店、専門店 |
| <ショッピングゾーン> | 4F | 心地よい暮らしとメンズファッション |
| | 3F | ファッションとコスメティックゾーン |
| | 2F | 専門店の集積「パサージュ」 |
| | 1F | 大型セレクトショップと専門店の集積「パサージュ」 |
| | B1F | スーパーマーケット、フードブティックと専門店 |

○商業ゾーンのスペック

- ・総店舗数：153店舗
- ・総店舗面積：約16,000㎡、約4,840坪

- ・ショッピングゾーン（地下1階～4階：113店舗）
店舗面積合計 約10,500㎡、約3,180坪
業態：スーパーマーケット、ベーカリー、デリカテッセン、スイーツ、カフェ、ファッション、アクセサリ、バッグ、シューズ、雑貨、インテリア、コスメティック、ビューティーサロン、他

- ・レストランゾーン（5階～6階：32店舗）
店舗面積合計 約4,300㎡、約1,300坪
業態：レストラン（和食、洋食、中華、エスニック、他）、カフェ、バー他

- ・丸の内ハウス（7階：8店舗）
店舗面積合計 約1,200㎡、約360坪

オフィスゾーン／10～37階

オフィスの基準階は、天井高 2.85m+OA フロア 15cm、有効面積約 3,000 ㎡の大規模空間を実現します。また、特殊フロアを設け、ディーリングルームやプレゼンテーションルームなどの幅広いビジネスニーズに対応します。

1階オフィスエントランスロビーには、多様なセキュリティに対するニーズに応える為、セキュリティゲートでアクセスを制限するハイセキュリティゾーンと、日中はフリーにゲストをお迎えするノーマルセキュリティゾーンの2種類のゾーンを設定しています。

ビジネスエンパワーメントゾーン／9、10階

9階では、貸会議室やコミュニケーションスペース、ジムスペース、シャワールームやリラクゼーションスペース等を設置。オフィステナントのビジネス活動を創造的かつ効率的にする共有スペースやサービス機能の充実を図ります。

10階にはベンチャー企業支援拠点「日本創生ビレッジ (EGG JAPAN)」を開設します。この施設は、事業初期段階のベンチャー企業の支援・育成を目的に、都心型ビジネスクラブとベンチャー支援オフィスを融合させたものです。

[環境共生への取り組み]

新丸ビルでは、環境共生への取り組みを積極的に行っています。

1階駐輪場周辺の壁面緑化や低層部屋上・34階屋上の緑化を始め、太陽電池パネルやドライミストの設置等により、ヒートアイランド対策・省エネルギーに寄与しています。また10階には、大手町・丸の内・有楽町地区の環境共生型まちづくりを推進するための環境拠点も設置予定です。先端環境技術導入に向けたシンクタンク機能、情報発信機能のほか、地区の環境活動のサポート機能、企業ベースの環境コミュニティ作りの交流機能を担います。

新丸の内ビルディング ビジュアル

外観パース→
(東京駅丸の内南口方向より望む)



←商業ゾーン外観パース
(東京駅丸の内南口付近より望む)

【参考資料】

■新丸の内ビルディング 建築概要

所在地	東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
敷地面積	約10,000㎡
延床面積	約195,000㎡
容積率	約1760%
容積対象床面積	約176,000㎡
階数・高さ	地下4階・地上38階・塔屋1階 約198m
構造	地下：SRC造、地上：S造
主要用途	事務所、店舗、駐車場
設計監理	株式会社三菱地所設計
コンセプトデザイン	ホプキンス アーキテクト (マイケル・ホプキンス卿)
施工	株式会社竹中工務店

～コンセプトデザイン担当 マイケル・ホプキンス卿～

【経歴】	1935年	英国生まれ
	1976年	建築設計事務所設立
	1994年	RIBA ロイヤルゴールドメダル受賞 プリンス・フィリップ賞デザイナーズ・オブ・ザ・イヤー受賞 王立美術大学名誉博士 大英博物館理事
	1995年	建築界への貢献により Knight の称号を授与される
	2002年	Civic Trust Award for Sustainability (Special Award) 受賞
	2006年	Stirling Prize 大賞ノミネート
【代表作品】	1992年	ブラッケン・ハウス
	2000年	新議員会館ビル

■丸の内再構築

当社は、“世界で最もインタラクティブな街”を目指して、「丸の内」をそれまでのビジネスに特化した街から開かれた多様性のある街へと転換を図るため、ハード・ソフト両面から丸の内再構築を推進しています。

○第1ステージ

1998年からの10年間を「第1ステージ」と位置付け、東京駅前周辺を重点的に機能更新しながら丸ビルをはじめ6棟のビルの建替を進めています。

建替スケジュール

2002年 8月	丸ビル竣工
2003年 2月	三菱UFJ信託銀行本店ビル竣工
2004年 8月	丸の内オアゾ竣工
2005年10月	東京ビル竣工
2007年 4月	新丸の内ビルディング竣工
2007年 半ば	ザ・ペニンシュラ東京竣工予定

その他取り組み

- ・情報通信ネットワークの整備などビジネスサポート環境の充実
- ・多様な商業テナント出店による新しい商業エリアの誕生
- ・ベンチャー支援や大学集積による多様な交流の創出

○第2ステージ

2008年からの10年間となる「第2ステージ」では、「第1ステージ」から取り組んできた丸の内再構築の更なる“広がり”と“深まり”を目指し、「大手町・丸の内・有楽町地区」全域にその効果を波及させていきます。

建替スケジュール（既公表プロジェクト）

2009年度	三菱商事ビル・古河ビル・丸ノ内八重洲ビル建替計画竣工予定 「三菱一号館」を復元
2010年度	東銀ビル建替計画竣工予定



所有ビル

1. 日比谷国際ビル	12. 文部科学省ビル
2. 有楽町電気ビル	13. 三菱ビル
3. 有楽町ビル	14. 東京銀行協会ビル
4. 新有楽町ビル	15. 大手町ビル
5. 国際ビル	16. 新大手町ビル
6. 新国際ビル	17. 日本ビル
7. 新日石ビル	18. 新日銀ビル
8. 富士ビル	19. JFE商事ビル
9. 新東京ビル	20. みずほコーポレート銀行本店ビル (SPCによる保有)
10. 岸本ビル	21. 三菱東京UFJ銀行大手町ビル (SPCによる保有)
11. 丸の内仲通りビル	

建替ビル

第1ステージ(1998年～2007年)	
1. 丸の内ビル	2002年9月オープン
2. 日本工業倶楽部会館・三菱UFJ信託銀行本店ビル	2003年2月竣工
3. 丸の内オアゾ(OAZO)	2004年9月オープン
4. 東京ビル	2005年10月竣工
5. 新丸の内ビル	2007年4月竣工予定
6. (仮称)ザ・ペニンシュラ東京	2007年度竣工予定
第2ステージ(2008年～2017年)	
1. 三菱商事ビル・古河ビル・丸ノ内八重洲ビル 建替計画	2009年度竣工予定
2. 東銀ビル 建替計画	2010年度竣工予定